

どうぶつ園からの花便り

花の季節到来！！



桜満開です！！ ポニーもお花見かな！？
桜は今が見ごろであり、ポニーにとっては食べごろです！！

動物園で咲き始めた花を紹介します！

『チューリップ』



今年も無事に花が咲きました



場所によっては、これから花をつけます。キリンもチューリップの成長を見てるのかな！？

『ガザニア』



色とりどり、きれいに咲いてます

『シバザクラ』



白とピンク！色は2種類です！！

『サクラソウ』



サクラとシバザクラとサクラソウ！！やはり春は、桜の季節なんですね

『ニリンソウ』



去年は、雑草と認識し、抜いてしまいましたが・・・めげずに今年も花を咲かせてくれました

『イチゴ』



白い花を咲かし、おなじみの赤い実がなる予定です

楽しみに待っててね！紹介！！

『ホオズキ』



新しい芽が出てきました

『コキア』



その他にも、マリーゴールド・アジサイ・マツバギクなど咲く予定です。
ちなみに動物園の花や野菜は、シマウマとポニーのウンチから作られた肥料で育てています。

動物とともに、元気に育った花や野菜も楽しんでみてはいかがでしょうか。
まってまーす。

※担当動物の都合上、紹介した花や野菜は、シマウマやキリンの周りで鑑賞できます。

飼育員なかむら

2016年4月8日

師匠と私

春は出会いと別れの季節です。この3月で私の師匠が動物園を卒業となりました。昭和49年に動物園に入り、43年間飼育員として勤め上げられました。



絶滅危機に瀕しているクロサイを5回も繁殖をさせるなど飼育技術においては言うまでもありませんが、職人芸とも呼べる物作りの腕は動物園では右に出る者はいません。この物作りの腕は飼育員にとってなくてはならないスキルです。小さな巣箱から大きな倉庫、ときには展示場そのものをつくることもあります。



<5番目のこども「サニー」>

ここで師匠の代表作をご紹介します。

掲示板と屋根

掲示物を貼る場所がないんですよね〜と相談したところ、立派な掲示板を作ってくれました！プレーリードッグもしかり。



<シカ舎の掲示板とテーブル>



<プレーリードッグ舎の屋根>

物置も自分で作ります。

レッサーパンダ舎はもともと建ててあった物置が大きくて使いづらかったので、真っ二つにリフォーム？したそうです。シカの倉庫は全部手作りです。



<レッサーパンダとシカの物置部屋。冷蔵庫や調理スペースもあります>

動物の快適な暮らしのために。

カワウソ舎にはもともとウミウやヌートリアなど寒さに強い動物ばかり入っていたので、カワウソを入れる際に屋根、暖房付きの小屋を作ったそうです。カピバラの休憩所は大きなアクリル水槽を切り出して、炬燵を取り付けています。



<カワウソの寝室。暖房つきです>



<カピバラの休憩所>

展示場も全て作っちゃいます！

カワセミ舎の材料は小学校からの寄付金で購入して、生息地が同じカンガルーの展示場の中に建てました。

アカリス舎はもともと建っていたアーチに金網でトンネルを作り、右側の小屋は園内で廃棄になったテーブルの天板を溶接して作りました。



<ワライカワセミ舎>



<アメリカアカリス舎>

などなど、細かいものをあげたらキリがありません。大工仕事はもちろん、電気、水道、左官、溶接、造園・・・まさに職人のなせる業です。

海外では設備専門の職員が配置されている動物園は珍しくありませんが、日本にはほとんどありません。物作りが飼育員の業務の一つとなっているのが現状です。専門に勉強したり生業にしている人たちに技術では及びませんが、実際に飼育員がやるからこそその強みもあります。私たちは動物と来園者の皆様と毎日接しています。その経験からこんなものがあったら良いなと想像し形にすることができるのです。

例えば、アナグマの展示場は大人が見るには問題ないですが、お子様には壁が高すぎて見えません。親御さんが持ち上げて見せていることもあります。危ないですし、見えないからいいや～なんてスルーされちゃうこともありました。よし踏み台をつくろう！といった具合です。



<アナグマの踏み台>

業者に依頼すれば、精巧なものができるかもしれませんが、その動物に合わせた形や大きさ、場所など実際に使うところまではイメージできないと思います。また、限られた予算の中では、全てを業者に依頼することは不可能です。

さらに、入念な打ち合わせをして新しく獣舎を作っても、実際に使ってみないとわからないことはたくさんあります。個体ごとに性格も能力も違うので、新しく入れた個体に壊されちゃったなんて話はよくあります。



<小型のサル類はすばしっこいので、作業中に逃げられないように二重扉を作りました。>

ある動物園業界で有名な方が「動物園のメッセージは展示で語られるべき」と仰っていました。

私は年中、全国の動物園に遊びに行きますが、展示の中に、動物のために、見ている人のために、という強い思いが込められた動物園が好きです。私たちは展示場を管理するのではなく、より良くしていく存在でなければなりません。きれいに作られた展示場もあくまで入れ物でしかなく、そこに命を吹き込み、血の通った展示にすることが私たちの仕事だと思っています。

かみね動物園もリニューアルが進んで、見た目にはどんどんきれいになっていますが、ただそれだけの動物園で終わらせてはいけません。人の思いが加わった情熱的な動物園になってこそだと思います。

昔気質な上に茨城弁（早口で怒っているように聞こえますが本人は穏やかに話しています。笑）がきついで、たまに「サイのおじさんに怒られた」という苦情をうけてしまうこともありましたが、動物園思いで、お客さん思いで、動物思いで、後輩思いで、動物園を支えてくれた功労者です。ぜひ皆様には、師匠や私たち職員が注いだ情熱を感じながら、動物園を楽しんでいただけたらと思います！

実は二番弟子 中本



本当におつかれさまでした。（ドリルの刃を折ってごめんなさい。）

※園長談

涙なくしては読めない師弟愛にあふれたブログいかがでしたでしょうか。園を率いる者としては、このような脈々と受け継がれる人と人との温もりこそが巡り巡って動物を幸せに導き、お客様にも還元できるものだと考えています。

後日談がありまして、この先輩職人サン、4月から職種を改め、急きょ臨時職員としてふれあい広場でサポーターを務めています。多少ぶっきらぼうなところもあるかもしれませんが、どうぞ温かく見守りください。（生江）

2016年4月5日

もう「おさるさん」とは呼ばせない！

第3回KNMどうぶつ総選挙を行いました！この総選挙、昨年までは飼育員が担当している動物を立候補させていましたが、今年はちょっと変更！申年ということもあり園内で暮らすサル（霊長目）達、15種全員立候補しました！



15種の立候補がいるということは推薦者も15人必要です。かみね動物園でサル達を担当するのは4人…さて、どうしよう…足りません…。じゃあゾウやキリンやクマやライオンなどなど他の飼育員にも協力してもらおう！でも、それでも足りない…。じゃあ獣医さんと事務職の人たちにも協力してもらえば良いじゃん！となり、職員一丸？となってサル達の推薦者となりました。

さて次に問題となったのが、誰がどのサルを推薦するのか…話し合い？指名制？？色々考えましたが、みんな平等に「くじ」で決めることに！最初はどうなるか不安でしたが、そこはやっぱり飼育員。思っていた以上に力を入れて調べたり、ポスターを作ってくれました。

3月5日には推薦者たちによる熱のこもったガイドを行いました！



<左から、サル担当、新人獣医、ペンギン担当、ベテラン獣医、園長、カピバラ担当>

制限時間3分の中で、それぞれ工夫を凝らしながら精一杯サルの魅力をお伝えしました。



そんなこんなで、17日間の熱い戦いの末、リスザルが断トツの1位という結果になりました！

詳しい結果についてはお知らせをご覧ください。↓↓

<http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/003/p050848.html>

そして、屈辱の最下位になってしまったのは、アビシニアコロブス・・・と、サバンナモンキーの同着となりました！奇しくも推薦者は両方ともベテラン獣医というおまけつき！

3月20日にリスザルの1位感謝イベント、27日に最下位応援イベントを行いました！

まずは感謝イベントからご紹介します。



昨年ウミウで惨敗したO内飼育員からのご挨拶、今年はリスザル推しで優勝でした。

その後、普段はできないリスザルのエサやりを行いました。エサは虫です！！



<結果発表！>



<リスザルのエサやり>

続いては、最下位応援イベントです！

彼らをもっと知ってもらおうということで、クイズと応援メッセージの寄せ書きを行いました！



<アビシニアコロブス>



<サバンナモンキー>



<アビシニアコロブスのクイズと寄せ書き>



<サバンナモンキーのクイズと寄せ書き>

霊長類と呼ばれる生き物は、世界に300種類を超えるといわれ、私たち人間もその1種です。

かみね動物園には15種類の霊長類がありますが（ヒトを入れると16種ですが）、残念ながら皆様からは「おさるさん」とひとくくりにして呼ばれてしまうのが現状です。

しかし、どのおさるさんも住んでいる環境に合わせて、体の形や色、動きや能力など多種多様に進化してきました。その1種1種におもしろさがあります。おさるさんではなく、アビシニアコロブス、サバンナモンキーとして見てみると色々な発見があるはずです！

今回はじっくりとサルを眺めて、そのおもしろさを知ってもらおうということで申総選挙を行いました！手ごたえばっちりとはいえませんでした。少しは彼らを知るきっかけになってもらえていれればと思います。今後も15種類も霊長類を飼育している動物園として、彼らの魅力をどんどんお伝えしていきます！

来年は酉年だから・・・。

応援ガイドで見知らぬ私に推しサルが寄ってこなかった 中本

2016年4月4日

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)